

業務区分	No.	機能要件	回答欄			
			必須機能	対応可否	備考(△の場合は、代替案を記入すること)	
共通要件						
サービス提供環境	機器環境	1	指定する機器、対応OSとそのバージョン、対応ブラウザとそのバージョンに対応していること。 ・診療所用機器の操作環境にあつては、仕様書記載のスペックを満たすこと。 ・利用者の操作環境のうち、対応させる機器はスマートフォン(PCも可とする場合は追記)とすること。 ・診療所用機器の操作環境のOSアップデートに対応すること。 ・診療所用機器の操作環境のブラウザのバージョンアップに対応すること。	○		
		2	利用者及び診療所が使用するアプリ等がOSとAndroid双方に対応していること	○		
		3	利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。必要とする場合は、その理由を明確に示すこと。	○		
	ネットワーク環境	4	利用者側環境及び診療所側環境は、インターネットで接続できること。インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。ただし、異なる環境を提案する場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	○		
		5	アプリサービスの場合、デバイス内には情報は保有せず、サービス提供クラウド環境(データセンター内)でデータを保有すること。	○		
	データ管理	6	情報資産は発注者が指示しない限り日本国内に保管されること。	○		
		7	永続的に保持すべき情報がある場合はデータのバックアップを実施すること。	○		
		8	端末故障時や機種変更時のデータ引継ぎが配慮されていること。	○		
		9	クラウドサービスの環境に保存される情報資産について、委託者の指示に従って取り扱うこと。	○		
		10	クラウドサービスの利用を通じて取り扱う情報について目的外の利用を行わないこと。	○		
		11	サーバ等に記録された情報について、バックアップ機能を有するとともに機能仕様を提示すること。	○		
	サービス提供時間	12	原則、24時間365日利用可能とすること。ただし、保守等の予定された停止及び市が指定する診療日時以外については、この限りではない。	○		
	時刻同期	13	重要なログ等を取得するサーバについて、正確な時刻同期ができる措置を講じること。	○		
	リソース容量・能力の確保	14	サービスに必要なリソースの容量、能力を確保すること。	○		
ライセンス数	利用者側ライセンス	15	利用者側アカウントライセンスが必要となる場合は、利用者ユーザー数として2アカウント以上対応すること。	○		
	診療所側ライセンス	16	診療所側アカウントライセンスが必要となる場合は、利用者ユーザー数として特権ユーザー1アカウント以上、一般ユーザー1アカウント以上対応すること。	○		
デザイン・操作性	デザイン	17	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインにすること。	○		
	操作性	18	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。	○		
情報セキュリティ	認証資格	19	ISMSなど(※)事業者における認証制度・評価制度への対応がなされていること。 ※ISMS認証又はプライバシーマーク認定を証する書類の写しを提出すること。	○		
	データセンター	20	データセンターは Tier3又は4相当であり、建築基準法(昭和25法律第201号)の新耐震基準に適合していること。	○		
		21	データセンターの物理的所在地を日本国内とし、情報資産について、合意を得ない限り日本国外への持ち出しを行わないこと。	○		
		22	データセンター側のネットワーク(インターネット回線)の冗長化をすること。	○		
		23	データセンター内の入退室を識別・記録できるセキュリティ設備により、許可された者のみ入退室が可能であること。	○		
	24	システムの稼働環境及びテスト環境などにおいて、コンピュータウイルス等の侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じること。	○			
	個人情報・情報セキュリティの遵守	25	個人情報保護法および上越市情報セキュリティポリシーを遵守すること。	○		
	ログ管理	26	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要なログ情報を取得すること。	○		
		27	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。	○		
		28	クラウドサービスが収集し保存する記録(ログ等)について、記録(ログ等)の管理に関する対策や機能に関する情報を提示すること。	○		
		29	クラウドサービスの環境内で生成されるログ等の情報について、ログ等の情報収集機能が第三者による情報セキュリティ監査及びデジタルフォレンジックに対応可能であること。 実装されていない場合は、デジタル証拠に該当する情報の提出に関する手続きを提示すること。	○		
	不正プログラム対策	30	システム(サービス)の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。	○		
		31	システム(サービス)の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。	○		
		32	不正アクセスによるウェブページの改ざんを防止するため、不要ポートの閉鎖、不要なサービスの機能を削除するとともに、不正アクセスを検知する機能を有していること。	○		
その他セキュリティ対策	33	個人情報の保護に配慮するなど、利用者が安心して利用できる対策を実施していること。	○			
	34	クラウドサービスに影響し得る技術的脆弱性を有する場合は、脆弱性管理の手順について提示すること。	○			

業務区分	No.	機能要件	回答欄		
			必須機能	対応可否	備考(△の場合は、代替案を記入すること)
重大なインシデントに繋がる恐れのある操作	35	重大なインシデントに繋がる恐れのある操作(機能の変更、削除、バックアップ及び復旧等)について、安全かつ利用可能な手順として確立されていること。	○		
再委託	36	再委託が行われる場合、再委託先の情報セキュリティ対策が十分に行われていること。	○		
サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	37	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報については、契約終了後全て抽出し発注者に提供すること。	○	
	保有データの消去等	38	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、保有データの提供のうち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。	○	
		39	データ消去後に、当該データを保存していた記憶装置の物理的破壊を行うとともに、そのエビデンスを提出すること。	○	
	オプトアウト対応	40	利用者からの申し出により、当該利用者に関する情報を全部または一部削除できる機能を有すること。	○	
利用規約等	利用規約への同意	41	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認(同意)をとることができること。	○	
	自動取得情報への同意	42	機器の個体番号やGPS位置情報等、利用者がサービスを利用した場合に自動的に取得する情報を明示するとともに、それら情報取得について同意をとることができること。(利用規約の確認に含む場合は不要)	○	
	プライバシーポリシー	43	プライバシーポリシーを表示すること。	○	
	関係法規制への対応	44	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。	○	
	著作権	45	第三者が権利を有している画像等を使用する場合は、事前に権利者から二次利用を含めた使用の許諾を得た上で、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受注者が行うこと。	○	
資格管理					
利用者側アカウント管理	管理情報	1	利用者は、氏名、住所、生年月日、電話番号、メールアドレスの情報を登録し利用登録を行えること。	○	
	アカウント設定方法・認証方法	2	利用者は、利用者ID及びパスワードでログインすることができること。	○	
		3	ソーシャルログインやマイナンバーによるログインなど、指定するログイン方法がある場合は指定する。	○	
	アカウント情報の修正・停止(廃止)	4	利用者自身が、アカウント情報の修正・停止(廃止)を行うことができること。	○	
		5	管理者が利用者のアカウント情報を確認・停止(廃止)、削除ができること。	○	
診療所側アカウント管理	管理情報	6	氏名やID、職名等を登録し、管理者IDを発行することができること。	○	
	アカウント設定方法・認証方法	7	管理者は、ID・パスワードによりログインすることができること。	○	
	アクセス制御	8	各職員の権限を個別に設定し、必要な機能のみを操作・閲覧可能とすることが可能であること。	○	
事前本人確認等機能(患者側)	本人確認機能	9	オンライン診療を受診するにあたり、本人確認書類の画像を登録するなど、本人確認書類の登録(提示)する機能があること。	○	
	保険資格確認	10	健康保険資格を確認するため、健康保険証の画像を登録(提示)する機能があること。	○	
診察	オンライン診察	11	予約時間に、アプリ上の画面のボタンや、メールで送付されるURLリンクを押すことで、容易にオンライン診療に接続することができること。	○	
		12	利用者の持つスマートフォン等のカメラ機能を活用し、オンライン上で顔を表示させた状態で診察を受けることができること。	○	
マニュアル	利用マニュアル	13	オンライン診療を受診する流れが容易に想像できるマニュアルが確認できること。	○	
オンライン診療	ビデオチャット機能	14	ビデオ会議室へ容易に接続でき、画面上で患者の表情を確認しながら、診察を行うことができる。	○	
	音声通話機能	15	緊急時の判断等のために、医師-患者間で音声にてコミュニケーションを取るための機能があること。	○	